

## 事業者向け

## 放課後等デイサービス自己評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			1つの大きな部屋だが、テープで区切るなどし、遊びや活動が安全にできるように工夫している。
	2	職員の配置数は適切であるか	○			基準に基づいている。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		事業所が2階のため、階段を使用しないといけないが、室内がバリアフリーである。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			職員会議やミーティングで振り返ったり、改善についても話し合う場を設けている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			定期的実施し、保護者の意向を把握するよう心掛けている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			ホームページにて自由に閲覧できるようにしている。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	外部評価はできていない。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			研修会に参加し、気づいたことなど記載し、支援に生かせるようにしている。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			保護者や子どものニーズに合わせた計画を作成している。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			実施している。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			日々の活動を事前に全員で話し合っている。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			静と動を取り入れながら工夫している。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			長期休暇には遠出やクッキング等平日には出来ない活動を行っている。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			子どもの体調や学校の行事また下校時刻によっての利用時間により、適宜活動内容を考えている。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			活動内容を全員が把握し、体調などで集団活動に入れられない場合、個別活動にするなど臨機応変に対応している。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			終了時、個人記録を記載し、気づいた点についてはその日のうちに話し合うようにしている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			深く関わった職員が記載するようになっている。

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			半年ごとに保護者とモニタリングを行い、目標やニーズの見直しをしている。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	○			子どもの意見も取り入れ、リラックスした環境の中で多彩なプログラムを行う工夫をしている。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			職員間で情報を共有し、主に管理者が参画している。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○			学校の行事等は手紙を毎月各学校から頂き、急な変更や送迎時のトラブル発生時には電話で迅速に連絡するようにしている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○		発作時等、緊急性がある場合には救急車の要請や保護者への連絡ができるようにしている。又、救命講習を消防署に依頼し施設内で実施している。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			担当者会議などで情報を共有し理解に努めている。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○			今は該当者がいないが、今後提供していく予定。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか			○	現時点では連携できているとは言えないので助言など受けることも視野に入れていきたい。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	公園や児童館のなどへの外出時、交流の機会がある。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○			定期的に参加するようにしている。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			送迎時または連絡帳などで毎回伝えるようにしている。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○			子どもの引き渡しの際等保護者とこまめに話をしたり、悩みを共通理解したり、助言を行っている。	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時に運営規定、重要事項を説明書で説明を行っている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			出来る限り保護者の話に耳を傾け必要に応じて支援を行っている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	保護者同士の交流の機会がもてるようなイベントを一年に1度開催するようにしている。

	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			苦情マニュアルに沿って対応している。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			本部から通信を配布したり、行事等はSNSで年に数日発信している。
	35	個人情報に十分注意しているか	○			個人情報に記載されている書類は施錠できる場所に保管している。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			子どもや保護者に寄り添い、丁寧な説明を心掛けている。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	地域住民を招待する等の活動はできない。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか			○	契約時、それぞれのマニュアルの書類を配布している。緊急時における施設での対応については見返す機会も多いので年に1度配布している。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			年に3回水害、火災、地震の訓練をし、水害の想定では避難所の近くの小学校近くを歩くなど、危険な場所を知らせている。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			計画に沿って実施している。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか			○	現在は該当者がいない。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか			○	契約時にアレルギーチェック表を記入してもらっている。指示書をもっている人はいない。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			気付いたらすぐに記録し、職員間で話し合っている。